

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	人間福祉学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生に対して、教育目標と習得すべき学習成果を明示化する。	→使用できるすべての媒体での明示化。	B	B			
2. 授与される学位と学位授与方針を学生に明示する。	→履修心得への明記。	D	B			
3. 教育目標、方針、課程、および学位授与方針に関して、学部関連のすべての広報媒体で社会に公表する。	→大学ホームページ、入試案内やパンフレットなど、関連する媒体のチェック。	B	B			
4. 教育目標、方針、課程および学位授与方針の達成状況について、教職員、学部生が評価する。	→学生や教職員に対するアンケートや聞き取り調査の実施。	D	C			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針) 人間福祉学部は、人間、社会、その相互作用を全体的に捉えながら、「質の高い生活と社会の実現」に、専門家・市民として貢献する人材の養成を目指したカリキュラムを展開、その所定のカリキュラムを修了することによって、学士(社会福祉学)、学士(社会起業)、学士(人間科学)が授与される。 (説明) 上記方針を、2011年度授業科目履修心得に明示している。
小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(方針) 上記人材養成に関して、学生が「人への思いやり」「幅広い視野」「高度な問題解決能力」を育むことをめざし、総合教育科目(36単位)、専門教育科目(80単位)、関連共通科目(8単位)から構成される教育課程を実施している。 (説明) 上記方針を明示している。
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員(教職員および学生等)に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない
	(説明) 2011年度授業科目履修心得に、何れも記されている。学部ホームページには教育目標と教育課程の編成・実施方針が、2012年版「空の翼」には教育目標と教育課程の簡単な説明が、2011年度大学案内に教育目標が明記されている。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
	(説明) 本学部完成年度翌年の2012年度から施行する新カリキュラム策定のために開催した各学科のワーキングチーム、学科連絡会、学部長室委員会において、検証を行なった。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
 必修・選択ごとの開設授業科目数
 系列別卒業必要単位数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎効果が上がっている事項 ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

《点検・評価(1)》効果が上がっている事項 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。	
小項目6.1.1	2011年度履修心得に次のように明記した「人間福祉学部各学科で所定のカリキュラムを修了することにより、次の学位が授与されます。社会福祉学科：学士(社会福祉学)、社会起業学科：学士(社会起業)、人間科学科：学士(人間科学)。
小項目6.1.2	
小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策 注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。	
小項目6.1.1	以上の内容を学部ホームページに明示する。
小項目6.1.2	
小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項 ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価】(2)改善すべき事項		注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。
小項目6.1.1	授与される学位及び学位授与方針が履修心得に記載されたことにより、学部学生には周知されたが、広く社会に公表するには至っていない。	
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

↓

《次年度に向けた方策(2)》改善方策		注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。
小項目6.1.1	授与される学位及び学位授与方針を学部ホームページに明示する。	
小項目6.1.2		
★小項目6.1.3		
小項目6.1.4		
その他		

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】	
★その他 (自由記述)	

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

- 一定の前進が認められます。
- 学位授与方針の社会への公表について、早急な実現が望まれます。

【学内委員】

- 学位授与方針が早期にホームページで明示されることが期待されます。
- 目標2に関連して、授与される学位及び学位授与方針が履修心得に記載されたことは、評価されます。目標4に関連して、アンケート調査等が実施されたとのことですが、その点に関するもう少し具体的な言及が期待されます。
- 学位授与方針については、大学基準協会の留意すべき事項を参照してください。
- 小項目6.1.2については、大学基準協会の留意すべき事項に従った記述が求められます。
- 周知・公表については、社会一般への必要性から、ホームページへの掲出は欠かせないものです。従って、教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針はすべてホームページに掲出する必要があるでしょう。
- 検証について、教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の3つとも各学科のワーキングチーム、学科連絡会、学部長室委員会にて検証したのでしょうか。なお、認証評価においては、検証の実施確認は各会議の記録によりますので記録の整備をしてください。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

- 小項目6.1.1
基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.2
基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.3
基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」
達成度評価：なし
- 小項目6.1.4
基盤評価：なし
達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

- 学位授与方針を学部ホームページに明記する。
- 小項目6.1.2（説明）
カリキュラムの全体像とその特徴、総合教育科目（キリスト教科目、言語教育科目、教養教育科目）と専門教育科目（研究演習・卒業研究、専門共通科目、学科専門科目）の構成と各々の実施方法、社会福祉士をはじめとした資格習得のための関連科目の履修方法、成績評価の方法を設定・実施し履修心得に明示している。
- ★小項目6.1.4（説明）
社会福祉学部は2009年度から開始の新社会福祉士国家資格の指定科目に対応するためにワーキングチームを立ち上げ検証、その結果を、学科連絡会、学部長室委員会にあげ、検証した。さらに3学科共に2012年度からの新カリキュラム策定のために立ち上げたワーキングチームで教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方法を検証した。検証の結果を学科連絡会、そして学部長室委員会にあげ、それぞれで検証した。